

3 を	2乗すると	
-3 を	2乗すると	

先のことから分かるように、正の数の平方根は2つあり、

が 等しく、

が 異なる。

参考：

「負の数の平方根」は
中学数学では考慮しない。

一応、「無い」としておくことになっている。

を	2乗すると	16
を	2乗すると	16

「2乗すると 25」になる数を
「25 の平方根」という。

と		である。
---	--	------

「1 の平方根」は

と		である。
---	--	------

次の数は覚えておくことが望ましい。

$11^2 =$	$12^2 =$
$13^2 =$	$14^2 =$
$15^2 =$	$20^2 =$

100までの数の中で、
平方根が整数になるのは
つぎの 10 個 である。

$$\sqrt{121} = \boxed{}$$

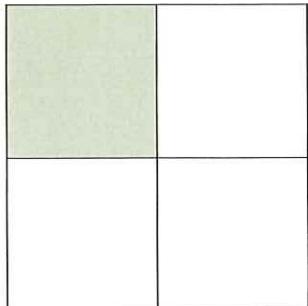
$$\sqrt{144} = \boxed{}$$

$$\sqrt{169} = \boxed{}$$

$$\sqrt{196} = \boxed{}$$

$$\sqrt{361} = \boxed{}$$

次の図は、1辺が1cmの正方形4つ
の図と見てください。



4 cm²です。

面積が

2 cm² の

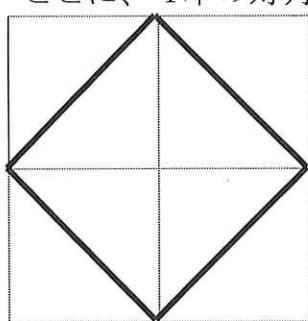
1辺の長さは、
小数で表そうとすると、

.....

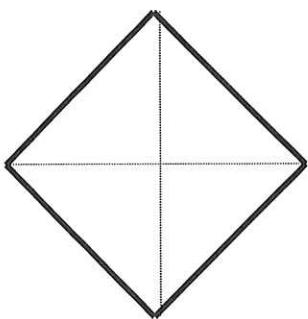
とずっと続く数になります。

それで、

$x^2 = 2$ となる X の値を

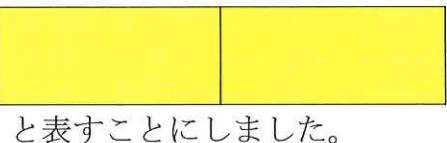


ここに、4本の対角線を引きました。



この正方形の面積は

cm² です。



と表すことにしました。

$$\sqrt{3} \times \sqrt{3} =$$

$$-\sqrt{3} \times \sqrt{3} =$$

$$(-\sqrt{3})^2 =$$

$$\sqrt{3} \times \sqrt{2} =$$

$$\sqrt{3} \times \sqrt{6} =$$

$$\sqrt{10} \times \sqrt{2} =$$

$$\sqrt{10} \times \sqrt{6} =$$

次の式を

 $a\sqrt{b}$ および \sqrt{c} の形で表せ。

$$\sqrt{3} + \sqrt{3}$$

$$= \boxed{} = \boxed{}$$

$$\sqrt{5} \times 2$$

$$= \boxed{} = \boxed{}$$

$$\sqrt{3} \times \sqrt{6}$$

$$= \boxed{} = \boxed{}$$

根号の中を、
できるだけ簡単な形で表せ。

$$3\sqrt{2} \times \sqrt{6}$$

$$= \boxed{}$$

$$\sqrt{12}$$

$$= \boxed{}$$

$$\frac{\sqrt{6}}{\sqrt{2}}$$

$$= \boxed{}$$

次の $a\sqrt{b}$ を \sqrt{c} の形にせよ。

$$2\sqrt{2}$$

$$2\sqrt{3}$$

$$2\sqrt{5}$$

$$3\sqrt{2}$$

$$3\sqrt{3}$$

$$3\sqrt{5}$$

$$4\sqrt{2}$$

$$5\sqrt{2}$$

$$6\sqrt{2}$$

$$4\sqrt{3}$$

$$5\sqrt{3}$$

上の計算が

速やかに言える

ように練習しなさい。

平方根の計算は、ふつう
根号の中をできるだけ簡単にする
約束になっている。

次の3つは同じおおきさである。

$\sqrt{\frac{3}{100}}$	$\frac{\sqrt{3}}{\sqrt{100}}$	$\frac{\sqrt{3}}{10}$
------------------------	-------------------------------	-----------------------

それゆえ、

$$\sqrt{0.03} \quad \text{は}$$

上のように変化させて
右端のように表す習慣である。
上に倣って次の計算をせよ。

$$\sqrt{0.05}$$

=

$$\sqrt{0.16}$$

=

$$\sqrt{0.36}$$

=

式の展開を学んだ後に計算しなさい。

$$(\sqrt{3} + 2)(\sqrt{3} + 5)$$

$$=$$

$$=$$

$$(\sqrt{3} - 2)(\sqrt{3} - 5)$$

$$=$$

$$=$$

$$(\sqrt{3} - 2)(\sqrt{3} + 5)$$

$$=$$

$$=$$

$$(\sqrt{3} + 2)(\sqrt{3} - 5)$$

$$=$$

$$=$$

$$(\sqrt{3} + 2)(\sqrt{3} - 2)$$

$$=$$

$$=$$

$$(\sqrt{3} + \sqrt{2})(\sqrt{3} - \sqrt{2})$$

$$=$$

次の数の、大小関係を

不等号 $>$ $<$ で示せ。

2		$\sqrt{3}$
$2\sqrt{3}$		4
$3\sqrt{2}$		5
$3\sqrt{2}$		4
$\sqrt{27}$		5

「数学的に正しい」とは、

「例外なく言えること」、
「すべてを網羅していること」です。

「部分的に正しいこと」は

数学的には「誤り」です。

それゆえ、

「36の平方根は6である」は、
「-6」が抜けているので

です。

根号の中が自然数となる

次のような **X** を求めよ。

$$2 < x < 3$$

次の文章のうち、
正しいものに正、
誤っているものは結論を正せ。

4の平方根は2である。

$\sqrt{9}$ は±3である。

$\sqrt{16}$ は4より大きい。

\sqrt{a} は整数では表せない。

$\sqrt{-4} = -2$ である。

最後の問題は

高校数学であるから出来なくて良い。

次の文を完成しなさい。

$$\boxed{\sqrt{2}} = 1.4142\cdots\cdots$$

ですから、

$\sqrt{2}$ の整数部分は、

$\sqrt{2}$ の小数部分は、

0.4142\cdots\cdots ですが、

$\sqrt{2}$ と 1 を使って、

と表すことにします。

次の数の整数部分と小数部分とを
上に値って答えなさい。

平方根	整数 部分	小数 部分
$\sqrt{3}$		
$\sqrt{5}$		
$\sqrt{10}$		
$\sqrt{20}$		
$\sqrt{40}$		

$\sqrt{6}$ の整数部分を **a**、

小数部分を **b** とする時、

次の値を求めなさい。

① a	
② b	
③ b-1	
④ $(b+2)^2$	
⑤ $(b+3)^2$	

$\sqrt{2}$ を	1.41
$\sqrt{20}$ を	4.47

として、

次の数のおよその値を求めなさい。

$\sqrt{200}$	
$\sqrt{2000}$	
$\sqrt{20000}$	
$\sqrt{0.2}$	
$\sqrt{0.02}$	
$\sqrt{0.002}$	